

11月18日(土)・19日(日)開催

トレッキング・ザ・空海あいなん ～癒しの里 四国の道を歩こう～

トレッキング参加者数 1日目:175人、2日目:169人
(句会ライブ参加者数 125人)



11月18日(土)・19日(日)、宿毛市から愛南町、宇和島市津島町までの遍路道を歩くウォーキングイベント「トレッキング・ザ・空海あいなん」が開催されました。初日となる18日(土)、御荘文化センターで行われた総合開会式では清水雅文町長が、「皆さん、体調には気を付けて怪我のないよう、愛南町の絶景を楽しんでください」と、出発する参加者を送り出しました。

「松尾越えへんろ道を歩こう」と題された初日で最も長いコースは、宿毛市から出発して松尾峠を越え、一本松山村開発センターで昼食休憩の後、御荘平城の観自在寺までを歩く22キロメートル。強い風の中歩いてきた参加者たちは、道中でボランティア団体(団体一覧は9ページに記載)から軽食や杖の配布のお接待を受けながらイベントを楽しんでいました。

2日目の「柏坂へんろ道を歩こう」コースでは、前日までの強風も落ち着き晴れ渡った秋空の下、参加した方々はDE・あい・21を出発し、宇和島市津島町までの道のり13キロメートルを歩きました。最初の接待所となる坂口(交差点)付近では、家串・柏小学校の児童たちが手作りしたお守りが配られました。そのほかにも、内海中学校の生徒たちがみかんを配るなど、地域が一丸となってイベントを盛り上げました。





イベント2日目の坂口(交差点)で配られたヒオウギ貝のお守り(約300個)は家串・柏小学校の児童が2学期中に制作しました。

11月9日(木)には、「トレッキング・ザ・空海あいなん」イベントが開催され、柏小学校の3・4年生がお守りを作りました。

「参加した方々がお守りをもらって嬉しい気持ちになって欲しい」と、児童たちが思いを込めたお守りは、全校児童で協力して書いたメッセージカードとともに参加者へプレゼントされました。



愛媛CATV動画



協力していただいたボランティア団体

- ・小山地区
- ・婦人会一本松支部
- ・町連合婦人会
- ・一本松小学校(上大道地区)
- ・山茶花クラブ
- ・愛南町ボランティア連絡会
- ・豊田を元気にする会
- ・南宇和高校
- ・愛南町御荘日赤奉仕団
- ・宿毛市役所
- ・柏自治会
- ・名勝会
- ・柏を育てる会
- ・家串小学校
- ・柏小学校
- ・おねえさんズ
- ・内海中学校
- ・柏老人クラブ
- ・亀岡建設(株)
- ・宇和島市役所

ふゆ
冬の森
もりえ
絵地図のうらの
ちず
小鬼の目
こおに
め

上田満里子
まりこ

夏井いつき句会ライブ参加者投句 最優秀作品



▲最優秀に選ばれた句についてインタビューを受ける上田満里子さん

19日(日)の最後には、愛南町出身の俳人である夏井いつきさんを招いた句会ライブが行われました。
投句の時間が始まると、参加者たちはお題となる写真を見て、思い思いの句を作り一人一句を投句していました。へんろ道を歩いた参加者の中には、その経験を思い出しながら句を考えたという人もおり、参加者たちはそれぞれの思い出や考えを自由に「五・七・五」のリズムに乗せて俳句を作っていました。また、優秀作品の作者には、町の特産品などが贈られました。